

コンビ ハイ&ロースウィングラック ロワイヤルプラス

取扱説明書

品質保証書付

本製品は一般家庭用として開発されたものです。業務用として使用した際の故障などについては、修理サービスが行えない場合があります。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

■本書は大切に保管してください。

■取りはずしてある部品は、本書をよく読んで正しく取り付けてください。

■本製品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡しください。



もくじ

はじめに

ご使用前の前に	1
使いかたの目安	2
安全にご使用いただくために	3
各部のなまえ	7

使いかた

高さ調節のしかた	8
キャスターの使いかた	9
シートベルト(腰ベルト・股ベルト・肩ベルト) の使いかた	10
テーブルの取り付けかた	13
リクライニングの使いかた	14
スウィングの使いかた	15
ベビーパレットの使いかた	17
収納レバーの使いかた	18

その他

シートクッション、シートベルトの 取り付けかた・はずしかた	19
日常のお手入れのしかた	23
スウィングラックQ&A	24
保管のしかた	25
点検とアフターサービスについて	25
廃棄方法について	25
SGマークの被害者救済制度	25
品質保証書	26

ご使用の前に

本製品は、室内におけるお子さま用の簡易ベッドや、いすとして使用されることを目的としています。

望ましい連続使用時間

簡易ベッドとして60分間/スウィング15分間 ※1日の合計使用時間：3～4時間

使用できるお子さまの年齢

新生児～48ヵ月まで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は18kg）

簡易ベッドとして使用するときは

新生児～5・6ヵ月ころまで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は2.5kg～9kg、身長70cmまで）
※スウィングをするときも同じです。

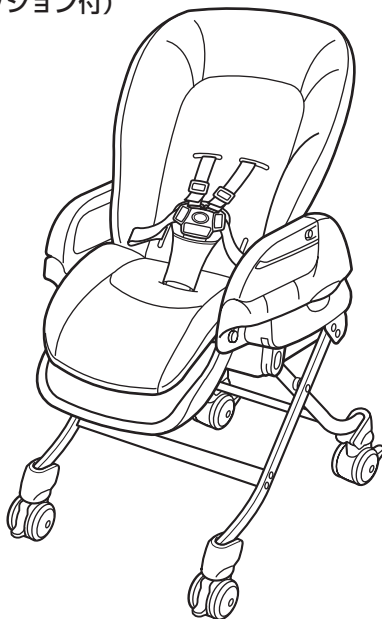
いすとして使用するときは

腰がすわってから（おすわりができるようになってから）48ヵ月まで
（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は18kg）

開封されましたら、各部品がそろっているかご確認ください。

箱の中には次のものが入っています。箱を開けたらすべてそろっていることを確認してください。

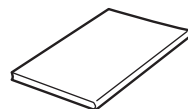
- ロワイヤルプラス本体(クッション付)
- テーブル
- 取扱説明書(本書)



ロワイヤルプラス 本体



テーブル



取扱説明書(本書)

●組み立てる前に、裏表紙の「品質保証書」に次の項目を記入してください。

- ① シリアルNo.(本体背面にあります。7ページ下のイラストをご覧ください)
- ② お客様のお名前・ご住所・電話番号
- ③ 販売店名

使いかたの目安

本製品は、簡易ベッドや、いすとしてご使用いただけます。お子さまの月齢にあわせ下記の使用条件をお守りください。

月齢の目安		新生児 ～2・3か月	2・3か月 ～5・6か月		5・6か月 ～18か月	18か月 ～48か月
発育状態の目安		首がすわるまで	腰がすわるまで		腰がすわったころ	ひとりでおすわりができたあと
使用方法	簡易ベッド	○	○		×	×
	いす	×	○		○	○
スウィング		○	簡易ベッド ○	いす ×	×	×
			リクライニング①②使用時はスウィング可、③使用時は不可			
シート ベルト	肩ベルト	必ず使用	必ず使用		必ず使用	×
	腰/股ベルト	必ず使用	必ず使用		必ず使用	必ず使用
リクライニング角度 の使用範囲		①	①②	③	③④⑤	③④⑤

●新生児とは…

この取扱説明書では、体重2.5kg以上で在胎週数37週以上のお子さまとしています。

安全にご使用いただくために

おむつ

- 製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよび保護者のかたが重大な損害を被るおそれがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。
- ここに表示した注意事項は、取り扱いを誤ると、保護者およびお子さまへの危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」・「注意」の2つに区分して示してあります。安全のため必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の可能性がります。

- お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。

⚠	警告/注意を促す内容があることを告げるものです。
✗	禁止行為であることを告げるものです。

	補足説明
---	------

⚠警告 **取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。**

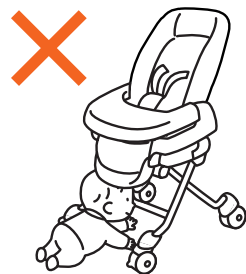
- 使用できるお子さまの年齢：新生児～48ヵ月まで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は18kg）
 - ・簡易ベッドとして使用するときは(2ページのリクライニング位置①と②)
 - ：新生児～5・6ヵ月ころまで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は2.5kg～9kg、身長70cmまで）
※スウィングをするときも同じです。
 - ・いすとして使用するときは(2ページのリクライニング位置③④⑤)
 - ：腰がすわってから(おすわりができるようになってから)48ヵ月まで
（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は18kg）
- 必ず股ベルト、腰ベルトを使用してください。
また、18ヵ月未満のお子さまには必ず肩ベルトも使用してください。
簡易ベッドとして使用するときは(新生児～5・6ヵ月)必ず肩ベルトを使用してください。
※スウィングを使用される場合も同じです。

思わぬ事故をまねくおそれがあります。

- 必ず保護者の目の届くところで使用してください。また、絶対にお子さまを1人で放置しないでください。
- お子さまは思わぬ動作をしますので、シートベルトを締めていても立ち上がるおそれがあります。目ははなさず十分注意してください。



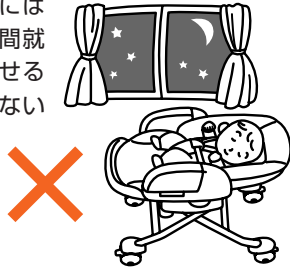
- ラックの周りにお子さまがラックの下にもぐり込んだり、ラックの操作をしないよう注意してください。



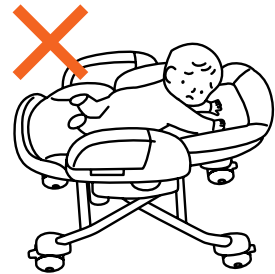
- ラックに腰かけたり、大人が荷重をかけないでください。



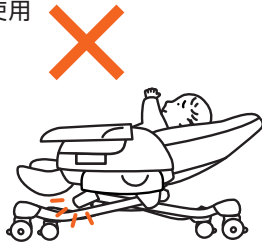
●一時的なお昼寝などには使用できませんが、夜間就寝などの長時間寝かせるベッドとして使用しないでください。



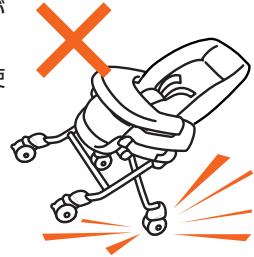
●簡易ベッドとして使用するときは、お子さまをうつぶせで寝かせないでください。窒息するおそれがあります。



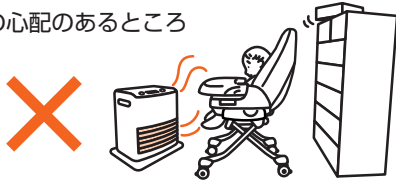
●収納ポジションでは使用しないでください。



●落下するなど、強い衝撃が加わり、変形・割れなど、部品が破損したラックは使用しないでください。



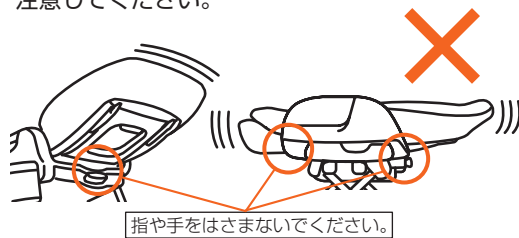
●次のような場所では使用しないでください。
 ・ストーブなど火気の近く
 ・落下物の心配のあるところ



●ラックの分解、修理、改造は絶対に行わないでください。

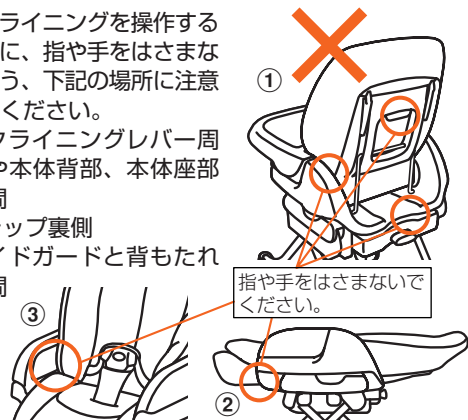


●スウィングする場合、製品背面の本体座部と裏面カバーの間、サイドガードとサイドカバーの間、ステップ裏側のすき間に指や手をはさまないように注意してください。



●リクライニングを操作するときに、指や手をはさまないように、下記の場所に注意してください。

- ① リクライニングレバー周辺や本体背部、本体座部の間
- ② ステップ裏側
- ③ サイドガードと背もたれの間



●ベンジン、シンナー、ガソリン、磨き粉などでふいたり、殺虫剤をかけないでください。

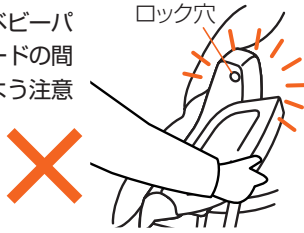


●高さを調節するときや、収納レバーを操作するとき、脚の間に指や手をはさまないように注意してください。

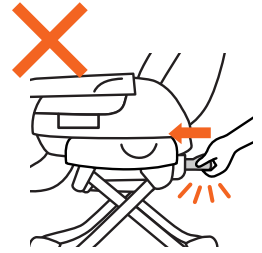


思わぬ事故をまねくおそれがあります。

- ベビーパレットを閉じるときに、ロック穴やベビーパレットとサイドガードの間に指をはさまないように注意してください。

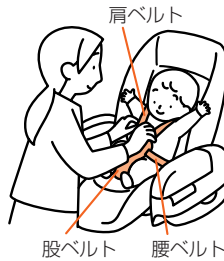


- スウィングロックを押し込む操作をするときに、スウィングロックレバーの下に指を入れて操作しないでください。



お子さまが落ちるおそれがあります。

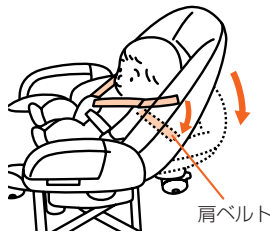
- 股ベルト、腰ベルトは必ず使用してください。また、18ヵ月未満のお子様には必ず肩ベルトも使用してください。簡易ベッドとして使用するときは（新生児～5・6ヵ月）必ず肩ベルトを使用してください。
※スウィングをするときも同じです。



- お子さまが座面やステップに立ったり、テーブルや手すりから身を乗り出さないよう注意してください。



- 肩ベルトは、お子さまの体にあわせてきちんと調節してご使用ください。（12ページ参照）リクライニング角度を変えたときは、そのつどシートベルトを調節してください。（11ページ参照）



- お子さまが乗り降りするとき、特にお子さまがステップを踏み台にして乗り降りするときは、必ず保護者が付き添ってください。

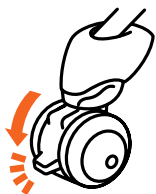


- お子さまを乗せたまま、持ち上げて移動したり、高さ調節、収納レバー、リクライニングなどの操作をしないでください。また、操作は必ず保護者が行ってください。

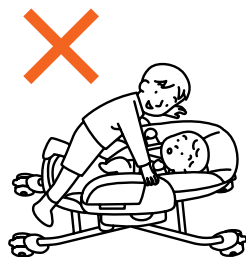


ラックが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。

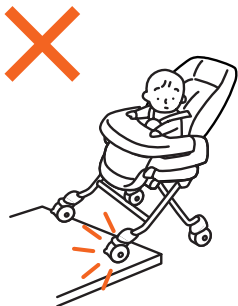
- 移動するとき以外は、キャスターロックレバーを下げ、キャスターをロックしてください。(9ページ参照)



- 1度に、2人以上のお子さまを乗せないでください。
- お子さまが乗っている場合も、乗っていない場合も、他のお子さまが手をかけたり、よじ登ることはおやめください。



- 製品は水平な床で使用してください。傾斜・階段・段差(カーペットとフローリングの段差など)のある場所、またタイルなどすべりやすい場所では使用しないでください。
- 外から力をかけると転倒のおそれがあります。特にお子さまが乗っている場合はご注意ください。



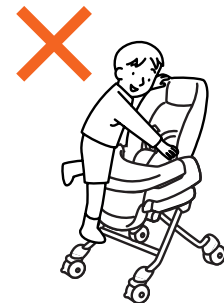
- 破損や異常が発生した場合は、必ず修理を受けてください。当社コンシューマープラザにご連絡ください。



- お子さまにラック(キャスターロックレバーなど)を操作させないでください。お子さまが落下するおそれがあります。



- 踏み台や台車、遊具のように使用しないでください。

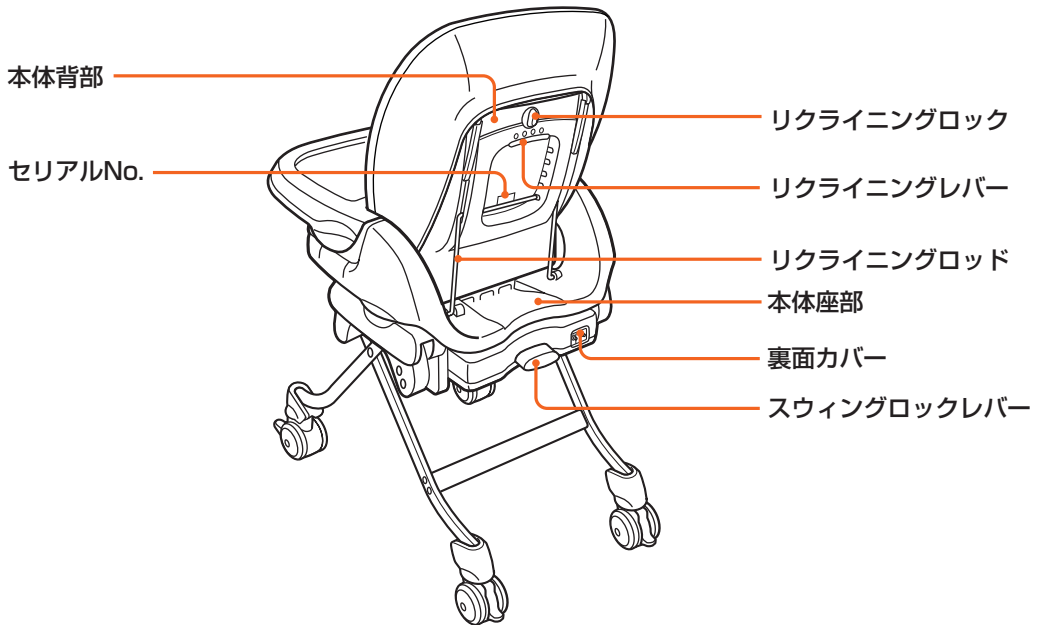
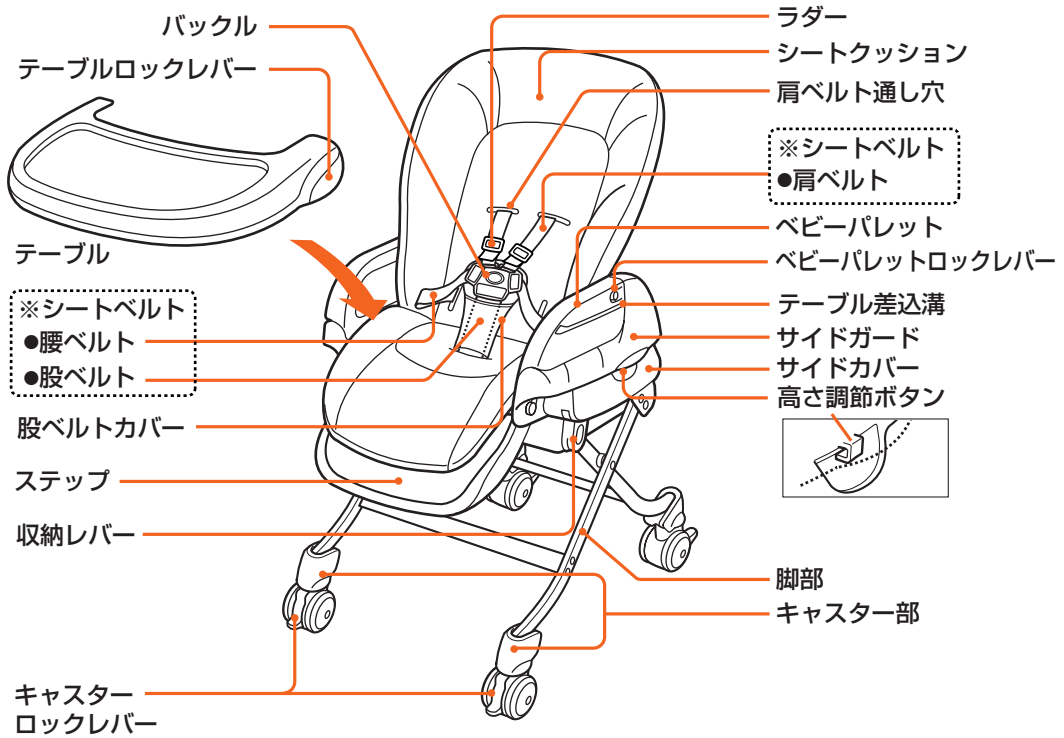


⚠ 注意

取り扱いを誤ると傷害を負ったり、ラックが破損するおそれがあります。

- リクライニングで背もたれの角度を変えた後は、必ずリクライニングロックをしてください。
- クッションは必ず取り付けて使用してください。
座面に穴や突起があり、お子さまの指などが傷つくおそれがあります。

各部のなまえ



※シートベルトとは、「腰ベルト・股ベルト・肩ベルト」の総称です。

高さ調節のしかた

お部屋や利用するときの状態にあわせて、高さを5段階に調節できます。



- お子さまを乗せたまま高さ調節をしないでください。お子さまが落下するおそれがあります。
- 高さ調節は、必ず保護者が行ってください。



- 左右の高さ表示があっているかを、必ず確認してください。高さが違うときは再度調節し直してください。思わぬ事故や故障の原因となります。
- 高さを下げるときは車輪などが前後に移動します。足元に注意してください。
- 高さ調節をするときは、必ずスウィングをロックしてから行ってください。故障の原因となります。
- 高さ調節時に、ラックの脚の間に手を入れないでください。ケガの原因となります。

1

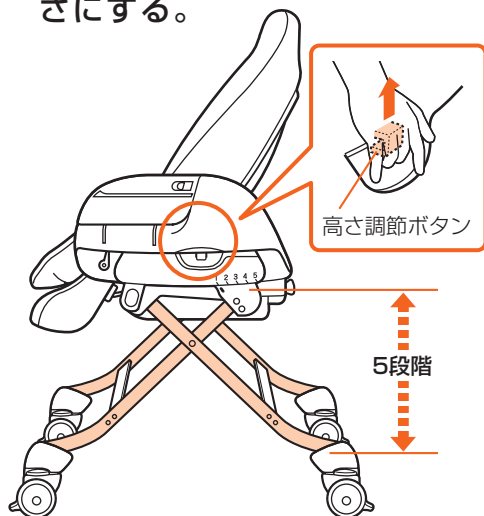
キャスターロックレバーが下がり、ロックされていることを確認する。



詳しくは「キャスターの使いかた」(9ページ)をご覧ください。

2

左右のサイドガード下にある高さ調節ボタンを押し、調節ボタンを押し上げたまま、本体を上下させて、利用する高さにする。



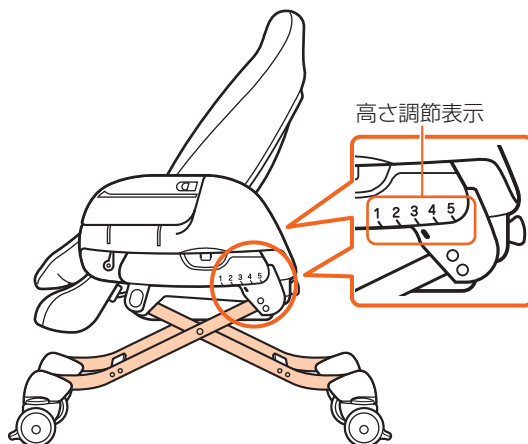
本体を持ち上げるようにすると、高さ調節ボタンが押し上げやすくなります。

3

左右の高さ調節ボタンから指をはなす。

4

左右の高さ調節表示が同じ位置であることを確認する。



左右の高さが違う場合は、もう一度やり直してください。

使いかた

キャスターの使いかた

室内で向きを変えたり、移動するときに使用します。

移動しないときには、必ずキャスターをロックしてください。

キャスターは、右図のように外向きでロックします。



キャスター
ロック位置

警告

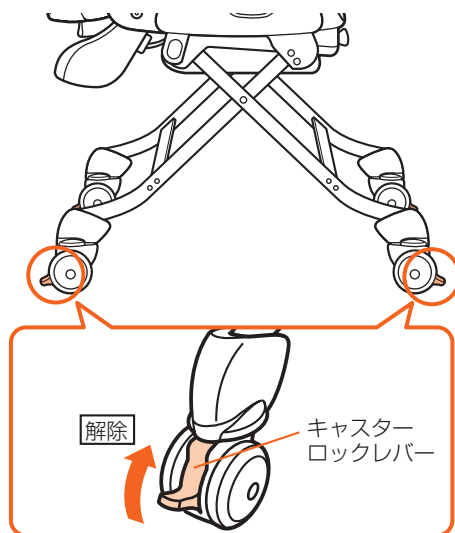
- キャスターは水平な床で製品の向きを変えたり、移動するときに使用するものです。そのため、傾斜・階段・段差のある場所では使用しないでください。
- 移動するとき以外は、必ずキャスターロックレバーを下げ、キャスターをロックしてください。ロックされていないとラックが転倒し、お子さまが落下するおそれがあります。

注意

- ラックを移動させるときは横すべりさせないでください。床面が傷つくおそれがあります。
- キャスターがロックされていないと、スムーズにスウィングできません。
- スウィングするときには、必ずキャスターをロックしてください。

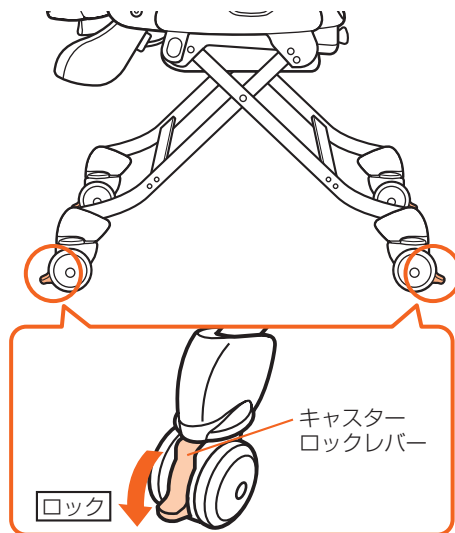
キャスターを使用する場合

キャスターロックレバーを上げ、ロックを解除する。



キャスターを使用しない場合

キャスターロックレバーを下げ、ロックする。



シートベルト(腰ベルト・股ベルト・肩ベルト)の使いかた

シートベルトとは、腰ベルトと股ベルト、肩ベルトの総称です。

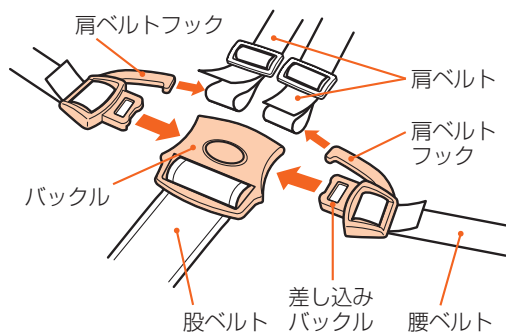
警告

- 股ベルト、腰ベルトは必ず使用してください。また、18ヵ月未満のお子さまには必ず肩ベルトを使用してください。簡易ベッドとして使用される場合は(新生児～5・6ヵ月)必ず肩ベルトも使用してください。
※スウィングをするときも同じです。
- シートベルトを締めずに乗せたり、締めかたが不完全ですと、使用中にお子さまが落下するおそれがあります。またシートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。
- お子さまを寝かせるときは、肩ベルト通し穴の位置に肩をあわせて寝かせてください。
- 左右の肩ベルトを交差させて装着しないでください。お子さまの首を圧迫するおそれがあります。
- 18ヵ月以上のお子さまがイスとして使用するとき(2ページのリクライニング位置③④⑤)は、肩ベルトはシートクッションの裏側に収納してください。

シートベルトの締めかた、はずしかた

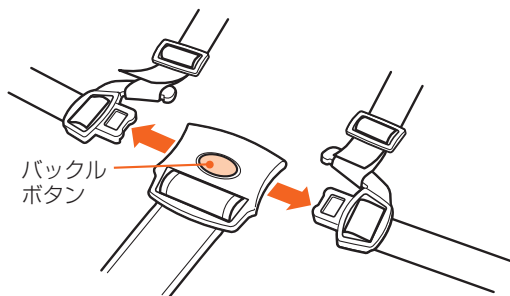
シートベルトの締めかた

1. 左右の肩ベルトに肩ベルトフックを通す。
2. バックルの左右に腰ベルトの差し込みバックルを、『カチッ』と音がするまで差し込む。
3. 肩ベルト、股ベルトを引っ張り、はずれないことを確認する。



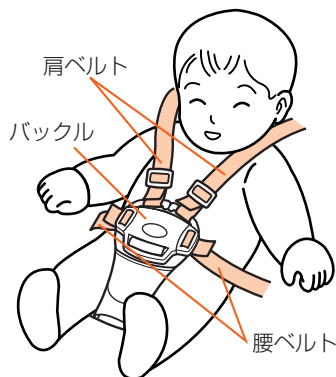
シートベルトのはずしかた

バックルボタンを押す。



お子さまへの装着のしかた

1. お使いになるリクライニングの状態にする。
2. お子さまを寝かせて、足の間からバックルを引き出す。
3. 左記「シートベルトの締めかた」の手順を参照し、図のように正しくシートベルトを締める。



- お子さまが抜け出さないように、シートベルトを適切な長さに調節してください。
- 長さ調節時に差し込みバックルをはずしたときは、「差し込みバックルの取り付けかた」(21ページ)をご覧ください、確実に取り付けてください。
- 各シートベルトの使用については、2ページの「使いかたの目安」をご覧ください。

次ページにつづく

使いかた

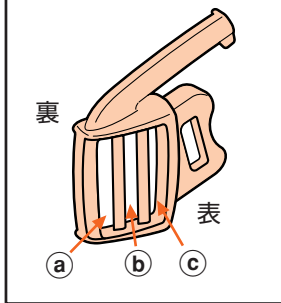
シートベルトの長さ調節

警告

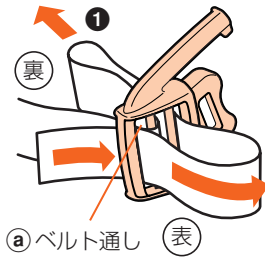
- シートベルトの長さは、お子さまの体にあわせて調節し、しっかりと締めてください。お子さまが落下するおそれがあります。
- リクライニングで背もたれの角度を変えたときは、必ずシートベルトを調節し直してください。お子さまがずれ落ち、シートベルトが首に絡まるおそれがあります。
- 調節後は、シートベルトを引っ張り、抜けないことを確認してから調節してください。
- リクライニングで背もたれを寝かせた状態で使うときは、必ず肩ベルトも使用してください。
- 各ベルトは、お子さまの体にあわせてきちんと締めてください。

腰ベルトの長さ調節

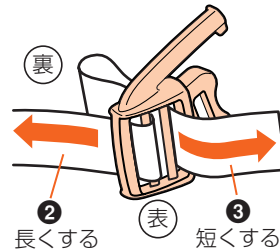
差し込みバックルのベルト通し
(a)(b)(c)



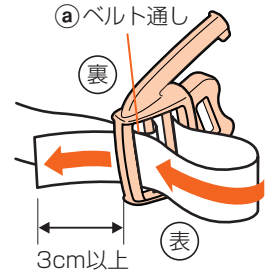
1. 腰ベルトの先端を①ベルト通しからはずし、①調節したい分の長さを引き出す。



2. 腰ベルトを左右に引っ張り、ベルトの長さを調節する。長くするには、②の方向に引っ張り、短くするには、③ベルトの先端を引っ張る。



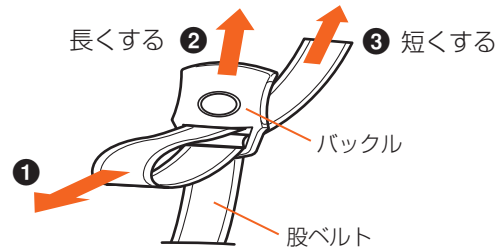
3. 腰ベルトの先端を、①ベルト通しに通す。



バックル表側に出ている腰ベルト先端は、3cm以上の長さを残してください。

股ベルトの長さ調節

- 股ベルトから股ベルトカバーを引き抜く。
- ①バックル表側から、調節したい長さの股ベルトを引き出す。
- 股ベルトを長くしたいときは…②バックルを引っ張る。
股ベルトを短くしたいときは…③ベルトの端を引っ張る。



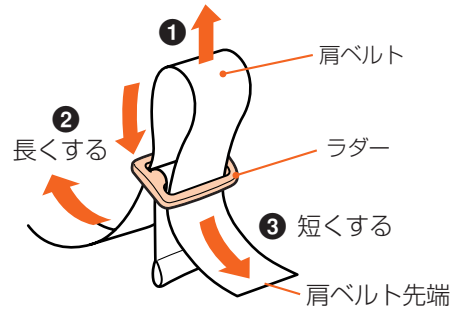
注意 バックルを、股ベルトからはずさないでください。1度ははずすと元に戻すことができません。

肩ベルトの長さ調節

1. ①調節したい分の長さを引き出す。
2. 長くしたいときは、
…②の方向に引っばる。
短くしたいときは、
…③の方向に引っばる。



ラダーは、肩ベルトから取りはずすことができません。



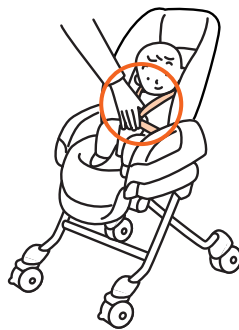
肩ベルトの取り付けかた・はずしかたについては、19ページをご覧ください。



リクライニングで背もたれの角度を変えると、シートベルトの長さが変わります。背もたれの角度を変えた後は、シートベルトの長さを調節し直してください。

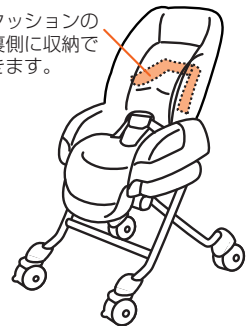


ベルト調節の目安は、シートベルトとお子さまの間に大人の指が入るくらいです。



18ヵ月以上のお子さまで肩ベルトを使わないときは、シートクッションの裏側に収納してください

クッションの裏側に収納できます。



テーブルの取り付けかた

お子さまの成長にあわせて、前後方向に3段階の調節ができるテーブルです。

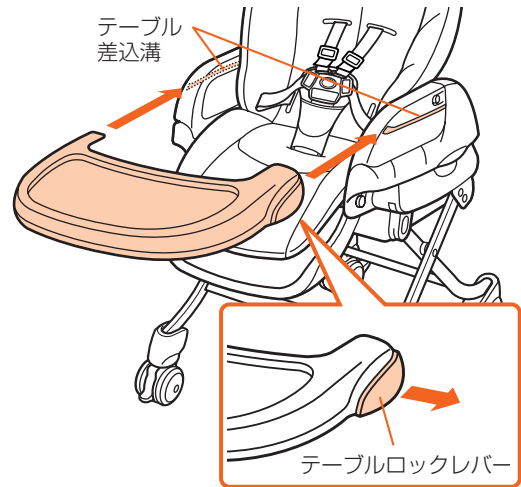


- 本体を持ち上げて移動するときは、テーブルを持たないでください。テーブルがはずれ、本体が落下するおそれがあります。
- テーブルでは、お子さまを支えられません。必ずシートベルトを使用してください。
- お子さまが本体側面の溝に指を入れると、ケガをするおそれがあります。
- テーブルの上に乗ったり、たたいたりしないでください。破損の原因となります。
- テーブルはお子さまの体にフィットさせてお使いください。

1. テーブル両側のテーブルロックレバーを、外側に引っぱる。
2. 本体側面のテーブル差込溝に、テーブルをあわせて差し込む。
3. 前後3段階からお好みの位置にあわせる。
4. テーブルを軽く前後に押して、抜けないことを確認する。

テーブルのはずしかた

テーブル両側の2ヵ所のテーブルロックレバーを外側に引っぱり、そのまま引き抜きます。



リクライニングの使いかた

背もたれとステップが連動して動く、5段階のリクライニングです。

お願い 生後2～3カ月までの首のすわっていないお子さまは、1番寝かせた状態で使用してください。

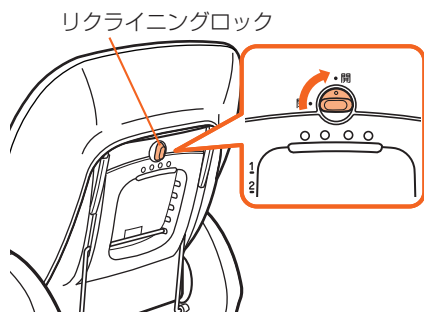
警告

- リクライニングで背もたれの角度を変えたときは、必ずシートベルトを調節し直してください。お子さまがずれ落ち、シートベルトが首に絡まるおそれがあります。
- リクライニング操作は、必ずリクライニングレバーを持って行ってください。
- お子さまを乗せたままリクライニング操作をする場合、背もたれを倒すときは、必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。リクライニング操作後はシートベルトを適切な長さに調節してください。

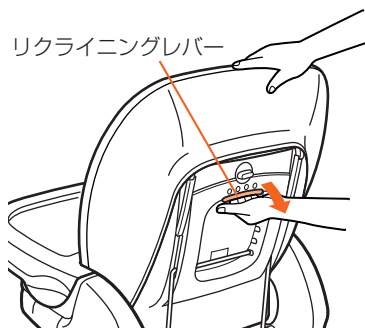
注意

- リクライニングの操作をするとき以外は、リクライニングロックでロックしてください。
- リクライニング操作で背もたれを寝かすと、連動してステップが前方向に出てきます。操作をする前に、前方に障害物のないことを確認してください。

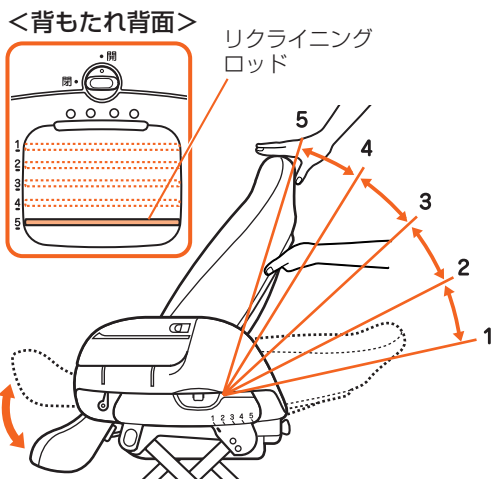
1 背もたれの裏のリクライニングロックを回して、ロックを解除する。



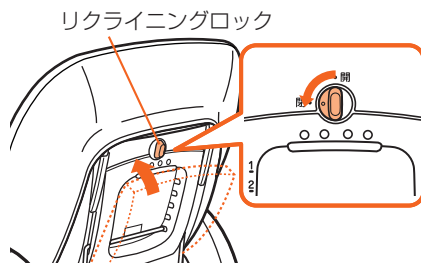
2 背もたれを片方の手で押さえながら、リクライニングレバーを手前に引く。



3 背もたれを押して、使用する角度を選ぶ。



4 リクライニングレバーを戻し、リクライニングロックを回してロックする。



リクライニングロッドが溝に入っていることを確認してください。

使いかた

スウィングの使いかた

心地よいゆれが、お子さまを落ちついた気分にしてくれます。
スウィングするときは、必ずキャスターをロックしてください。

警告

- 必ずシートベルトを締めてください。
- 簡易ベッドとして使用するとき(2ページのリクライニング位置①と②)は、新生児～5・6ヵ月ころ(お子さまの衣服などを含めた荷重制限は2.5kg～9kg、身長70cmまで)にお使いください。
- 激しくスウィングさせないでください。
- スウィングは保護者が行い、必ず付き添ってください。また、スウィング時間の目安は15分です。それ以上のスウィングは避けてください。
- スウィングは簡易ベッドのみの機能ですので、いすのとき(2ページのリクライニング位置③④⑤)には使用しないでください。いすのときに使用した場合、テーブルなどの間に手足などをはさんだり、乗り降りするときに不安定になります。特にお子さまがふざけて使用した場合、転倒などのおそれがあります。
- お子さまがブランコのように遊ぶことは危険です。転倒や転落のおそれがあります。

注意

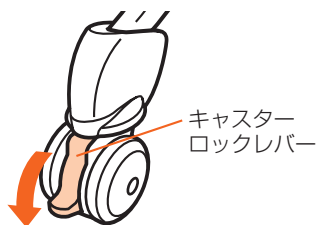
- 生後2～3ヵ月で首のすわっていないお子さまを乗せてスウィングするときは、背もたれを1番寝かせた角度にしてください。背もたれを立たせた状態でスウィングすると、お子さまが前のめりになったり、頭がぐらついたりします。
- 授乳後30分以内のお子さまには、スウィングを使用しないでください。ミルクを吐くことがあります。
- スウィングを使用するときは、お子さまのようすをよく見ていてください。異常が見られるときは、すぐに中止してください。
- スウィングにより本体が前後方向に動くことがあります。あらかじめ障害物のないことを確認してください。
- 収納状態では、スウィングさせないでください。

ラックは段差などのない水平な床で使用してください。

※スウィングは、水平でない床や段差がある場所では正常に動作しないことがあります。

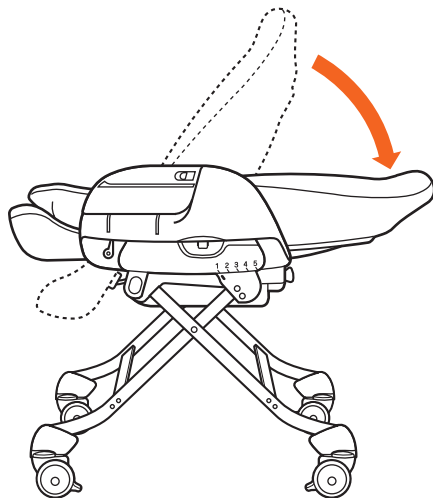
1

キャスターロックレバーを下げて、4カ所すべてのキャスターをロックする。



2

リクライニングで背もたれを寝かせた角度にする(2ページのリクライニング位置①または②)。

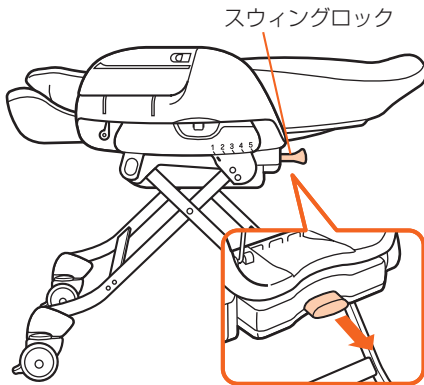


詳しくは「リクライニングの使いかた」(15ページ)をご覧ください。

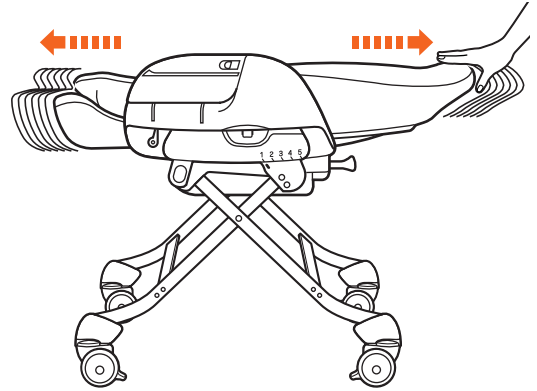
3 お子さまを寝かせて、シートベルトを装着する。

お子さまを寝かせるときは、肩ベルトの通し穴の位置に肩をあわせて、座面中央に寝かせてください。

4 背もたれの下のスウィングロックを引き出して、ロックを解除する。



5 手で、背もたれをゆっくり押し、スウィングさせる。



●スウィングしないときにはスウィングロックを押し込み、スウィングをロックしてください。

ベビーパレットの使いかた

ワンタッチでサイドガードが開き、おむつ交換などをするスペースができます。

ベビーパレットは、着替え・おむつ交換専用のプレートです。

ベビーパレットは、リクライニングで背もたれを1番寝かせた状態にしてお使いください。



注意

- 開いたベビーパレットに1kg以上の重量をかけないでください。破損するおそれがあります。
- 本体を持ち上げて移動するときに、ロックされていないベビーパレットを持たないでください。破損するおそれがあります。
- お子さまがベビーパレットを操作したり、遊ぶことは危険です。指などをはさみ、ケガをするおそれがあります。
- ベビーパレットを開いた状態で、ベビーパレットの上にお子さまが乗ったり体重をかけないでください。
- ベビーパレットはおむつ交換と着替え以外には開かないでください。
- ベビーパレットを使用しないときには、確実に閉めてください。
- ベビーパレットを操作するときには、お子さまの体の一部をはさまないように、十分注意してください。

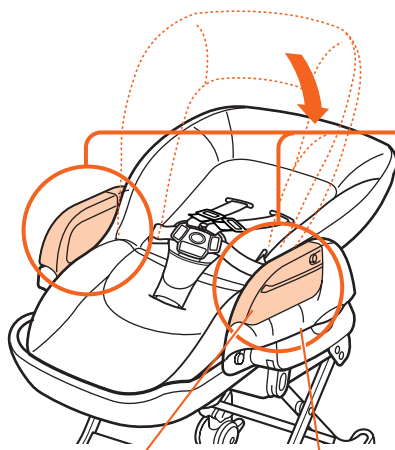
ベビーパレットを使用するときには

1

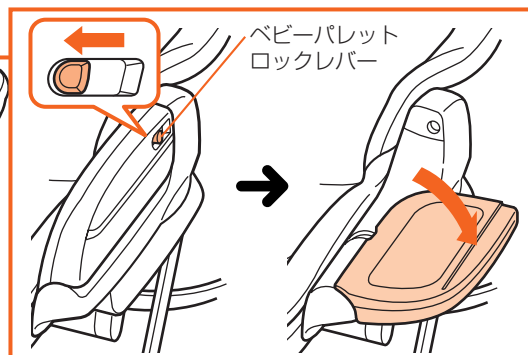
リクライニングで背もたれの角度を寝かせた状態にする。

2

ベビーパレットロックレバーを手前に引きながら、ベビーパレットを両側に開く。



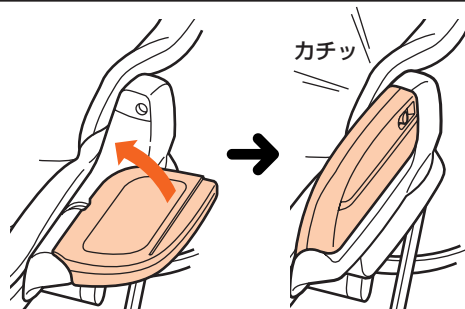
ベビーパレット サイドガード



ベビーパレットを収納するときには

閉じるときは、ベビーパレットを元の状態に戻す。

『カチッ』という音がして、ロックされます。



収納レバーの使いかた

箱に収納するとき、コンパクトなサイズにできます。



- お子さまを乗せたまま、収納レバーを操作しないでください。お子さまが落下するおそれがあります。
- 収納レバーの操作は、必ず保護者が行ってください。



- 収納状態では、スウィングさせないでください。
- 収納レバーを操作してラックの高さを下げるとき、ラック本体と床面との間に足や指などはさむおそれがあります。また車輪などが前後に移動しますので、足元にも注意してください。
- 収納した状態で移動しないでください。床面が傷つくおそれがあります。

1

1. リクライニングで背もたれの角度を1番寝かせた状態にする。

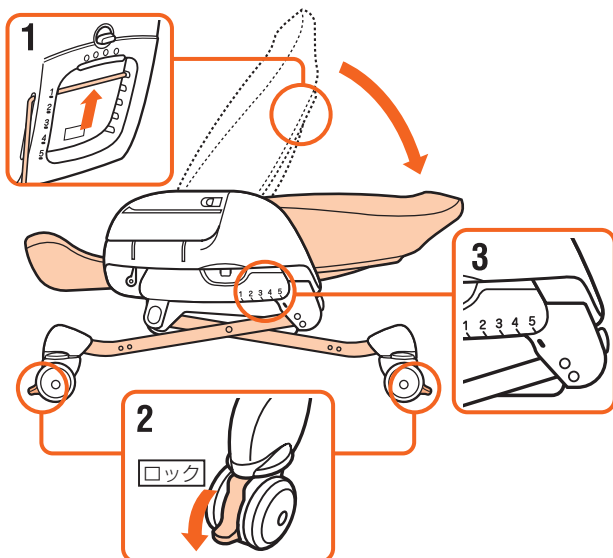
詳しくは「リクライニングの使いかた」(15ページ)をご覧ください。

2. キャスターをロックする。

詳しくは「キャスターの使いかた」(9ページ)をご覧ください。

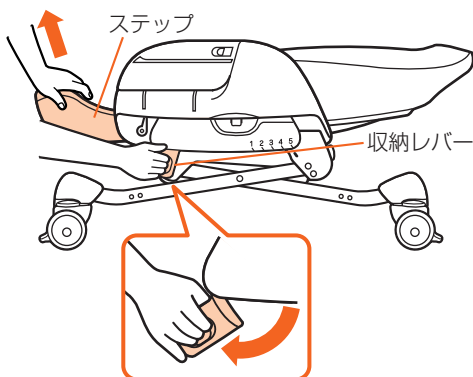
3. 本体の高さを1番下の位置にする。

詳しくは「高さ調節のしかた」(8ページ)をご覧ください。



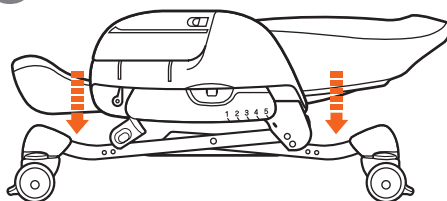
2

2. ステップを片手で持ち上げながら、収納レバーを片側ずつ、図のように手前方向に回して解除する。



3

3. そのままゆっくりと下げる。



- 再度、ラックを使用するときは、左右のサイドガード下にある高さ調節レバーを押し、そのまま本体を持ち上げて、利用する高さにしてください。
- 詳しくは「高さ調節のしかた」(8ページ)をご覧ください。

使いかた

シートクッション、シートベルトの取り付けかた・はずしかた

警告

- シートクッションを取りはずしたまま、お子さまを乗せないでください。すき間に手や足をはさむおそれがあります。
- シートベルトの取り付けかたが不完全ですと、使用中にシートベルトが抜けるおそれがあります。確実に取り付けられていることを確認してから、使用してください。
- 間違った取り付けかたをすると、使用中お子さまが落下するおそれがあります。
- ベルトを取り付けた後は、それぞれのベルトの端部を引っ張り、抜けないことを確認してください。
- お子さまは思わぬ動作をしますので、シートベルトをしめていても立ち上がるおそれがあります。目をはなさず十分注意してください。
- 18か月以上のお子さまがイスとして使用するとき(2ページのリクライニング位置③④⑤)は、肩ベルトはシートクッションの裏側に収納してください。



はずしかた

1

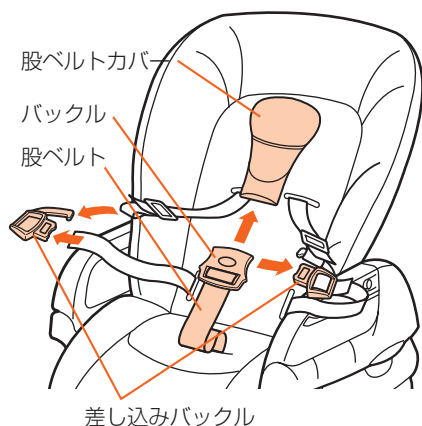
リクライニングで背もたれを1番立てた状態にして、バックルボタンを押して、肩ベルトをはずす。



詳しくは「リクライニングの使いかた」(15ページ)をご覧ください。

2

腰ベルトから差し込みバックルをはずし、股ベルトから股ベルトカバーをはずす。

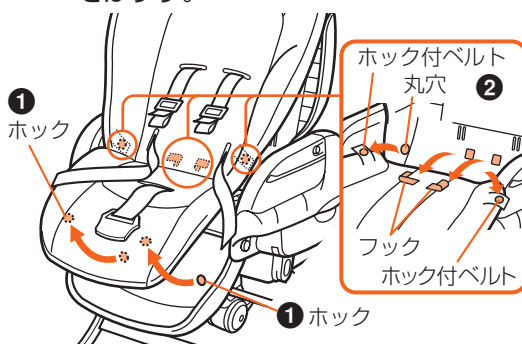


バックルを、股ベルトからはずさないでください。1度ははずすと元に戻すことができません。

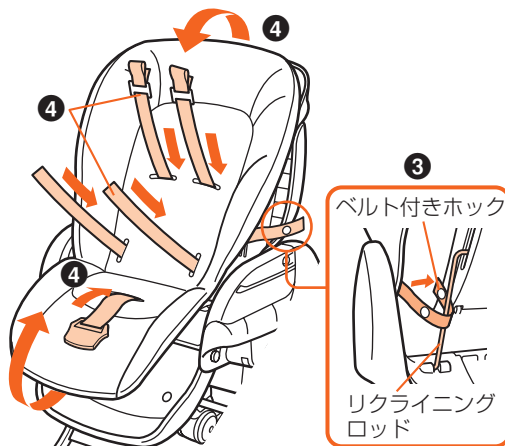
3

シートクッションをはずす。

- ①ステップのホック2個をはずし、
- ②本体中央部のフック2カ所と本体両側面の丸穴(2カ所)からホック付ベルトをはずす。

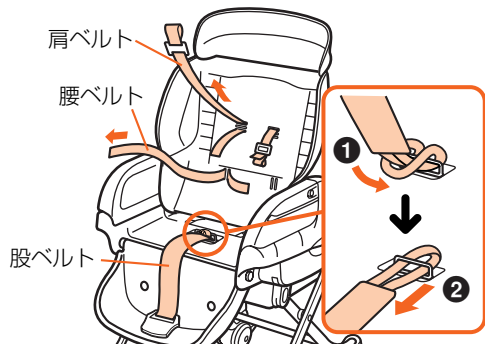


- ③ 本体背部のリクライニングロッドからシート両側のベルト付きホックをはずす。
- ④ シートベルトを引き抜き、本体からシートクッションを取りはずす。



4

肩ベルト、腰ベルト、股ベルトを本体からはずす。



取り付けかた

1

リクライニングで背もたれを1番立てた状態にする。

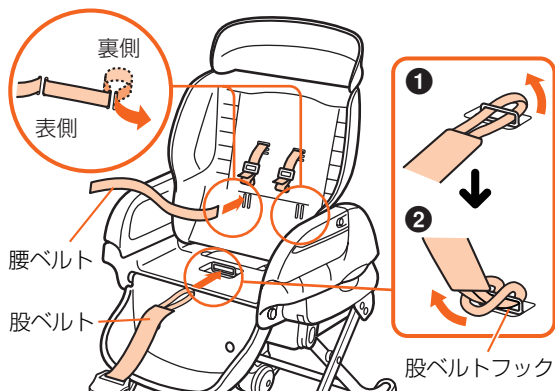
詳しくは「リクライニングの使いかた」(15ページ)をご覧ください。

2

腰ベルト、股ベルト、肩ベルトを本体に取り付ける。

腰ベルト、股ベルトの取り付けかた

1. 腰ベルトは、図のように片方のベルト通しから本体裏側に通し、いったん表側に引き出して、もう片方のベルト通しを同様に通す。
2. 腰ベルトの長さを調節して、同じ長さにする。
3. 股ベルトは、根元のひも部分を股ベルトフックに通し、ひもの輪に股ベルトを通す。

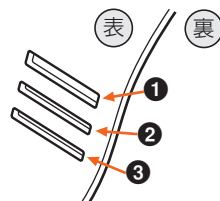


詳しくは「シートベルトの長さ調節」(11ページ)をご覧ください。

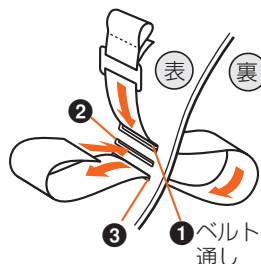
肩ベルトの取り付けかた

肩ベルトの表裏を確認してください。縫い目の折り返しがある面が表です。先端の折り込まれている面に注意して、取り付けてください。

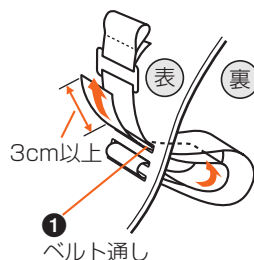
本体の肩ベルト通し



1. 本体表側から、肩ベルトの先端を①ベルト通しに通して裏側に入れる。ベルト先端を③ベルト通しから表側に出し、②ベルト通しに通して裏側に入れる。



2. ベルト先端を①ベルト通しから表側に戻す。



3. 左右の肩ベルトの長さを調節して、同じ長さにする。

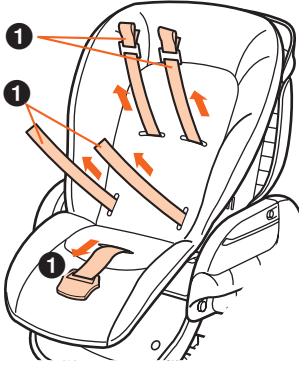
詳しくは「シートベルトの長さ調節」(12ページ)をご覧ください。

その他

次ページにつづく

3 シートクッションをかぶせる。

①シートベルトをシートクッションの表側に引き出す。

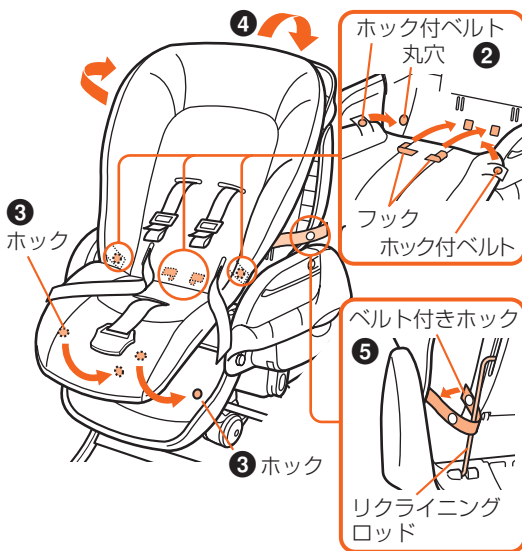


②本体中央部のフック2カ所とフック付ベルトを本体両側面の丸穴(2カ所)に座面の外側から内側にベルトを通し引き出して、ベルトのフックとシート端のフックをとめ、

③ステップのフック2個をとめる。

④シートクッションをかぶせる。

⑤シート両側のベルト付きフックを、本体背部のリクライニングロッドにとめる。



4 腰ベルトに差し込みバックルを取り付ける。

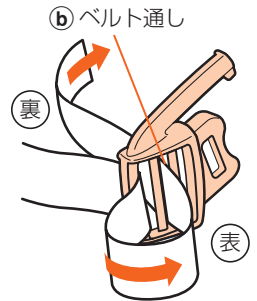
差し込みバックルのベルト通し



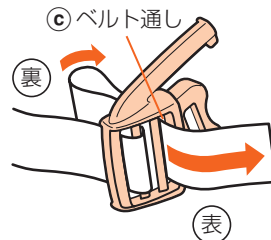
1. バックル裏側から、腰ベルトを①ベルト通しを通して、表側へ引き出す。



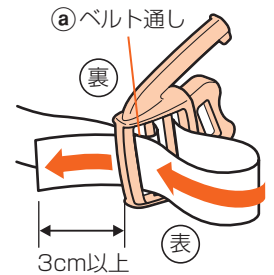
2. バックル表側から、ベルト先端を②ベルト通しを通して、裏側へ入れる。



3. バックル裏側から、ベルト先端を③ベルト通しを通して、表側へ引き出す。



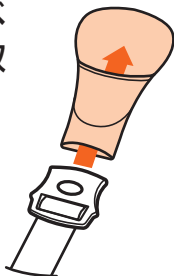
4. ベルト先端を④ベルト通しを通して、裏側へ入れる。



腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調節してください。

5

股ベルトに股ベルトカバーを取り付ける



6

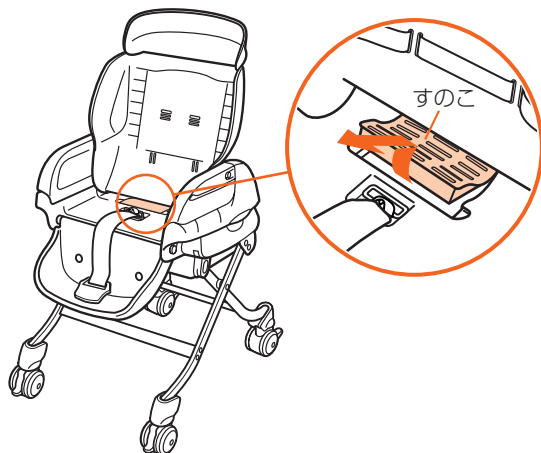
左右の肩ベルトを差し込みバックルの肩ベルトフックにかけ、差し込みバックルをバックルに差し込む。

ベルトの名称は、「シートベルト(腰ベルト・股ベルト・肩ベルト)の使いかた」(10ページ)をご覧ください。

日常のお手入れのしかた

座面のお掃除

座面のお掃除は、シートクッションをはずした状態で背もたれを立て、座面のすのこをはずして行うことができます。すのこの下に落ちていたゴミなどを、背面に掃きだすことができます。



本体のお手入れ



中性洗剤原液でのお手入れや、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤でのお手入れはしないでください。本体を傷めるおそれがあります。

- 本体やテーブルが汚れたときは、薄めた中性洗剤またはぬるま湯を柔らかい布に含ませて、ふいてください。
- 車輪は、ほこりなどが付着すると滑りやすくなります。薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませて、ふいてください。

シートクッション、股ベルト、肩ベルト、腰ベルトのお手入れ

	液温は30℃を上限として手洗いしてください。
	漂白剤は使用しないでください。
	アイロン掛けはしないでください。
	ドライクリーニングはしないでください。
	強く絞ると、シワが残ることがあります。
	日陰で平干ししてください。

- クッションは取りはずして、左記の洗濯表示に従い洗濯してください。
- 股ベルトは、バックルを付けたまま洗ってください。(バックルを股ベルトからはずさないでください)
- 肩ベルトは、ラダーを付けたまま洗ってください。(ラダーを肩ベルトからはずさないでください)
- 製品の特性上、多少色あせすることがあります。
- 洗剤は、蛍光剤、漂白剤、酵素などを含まない天然脂肪酸をベースとした洗剤(コンビ おむつ・肌着洗い)を使用することをおすすめします。
※特に敏感肌のお子さまは上記の条件にあった洗剤を使用してください。
- 洗濯と脱水の際は、他の衣料品と区別されることをおすすめします。
- すすぎは充分に行ってください。
- 快適に使用していただくため、こまめに洗濯することをおすすめします。
- ※ 共通洗い替えクッションは、ご利用いただけません。専用の洗い替えクッションをご利用ください。



お手入れの際に取りはずした部品は、本書をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

スウィングラックQ&A

スウィングラックを正しく効果的にご使用いただき、お子さまとの楽しいひとときにお役立てください。

Q1

ハイ&ロースウィングラックは生後何ヵ月から使用できますか？

新生児から使用できます。
ただし、お子さまの首がすわるまでの2～3ヵ月までは、背もたれを1番寝かせた角度で使用してください。

Q3

スウィングの時間は何分ぐらいが適当ですか？

お子さまが機嫌よく、快い表情でいられるかを目安にしてください。
気持ちよさそうに眠り始めたときはすぐに止めないで、しばらくスウィングを続けてあげたほうがよいでしょう。
10～15分くらいを目安に考えてください。

Q2

1日にどれくらい、使用しても大丈夫ですか？

お子さまを座らせておく時間は、1回30分から1時間くらいが適当です。
お子さまが機嫌よくひとり遊びしている時間が目安になります。
お子さまには、やはりお母さまの抱っこが1番です。ラックに長時間いることはよくありません。
1日の使用時間は合計3～4時間が望ましいでしょう。
スウィングしながらお子さまが眠った場合は、すぐにベッドやふとんに移すと目をさますことがありますので、よく寝ついてから移してあげてください。

Q4

スウィングさせるときの最適な揺らしかたはありますか？

背もたれを「スウィングの位置」にしてお子さまを寝かせ、ようすを見ながらやさしくスウィングしてあげることが最適といえるでしょう。
お子さまが眠ったときは、徐々に揺らしかたを小さくしてあげるようにしてください。

その他

保管のしかた



火の近くなど、高温になる場所での保管は避けてください。また荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

- 直射日光を避け、湿気が少なく、雨やほこりがかからない場所に保管してください。

点検とアフターサービスについて

- ネジ類のゆるみ、部品の欠損および作動不良などの異常がないか適時点検してください。
- 危険ですから、むやみに改造や分解はしないでください。
- 本製品の修理/部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があり、色や仕様が若干異なることがありますので、あらかじめご了承ください。製品使用上は差しつかえありません。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)

〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271
TEL.(048)797-1000
FAX.(048)798-6109

コンシューマープラザ (Customer Service Center)／西日本担当

〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-1-18
TEL.(06)6536-0456
FAX.(06)6536-4468

廃棄方法について

- お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。
- 地球環境のため、放置はしないでください。

SG マークの被害者救済制度

SGマークが表示されたスウィングラックを、消費者の皆さまが正常に使用していたとき、製品の欠陥により万一事故が発生し、お子さまが損害を被った場合は、「(財)製品安全協会」がその損害を賠償いたします。

ただし、お買い上げ日より4年以内です。

●賠償についてのご注意

- 認定したスウィングラックそのものが故障したとしても、その品質について保証するものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害について賠償する制度です。
- 賠償金は(財)製品安全協会がそれぞれ実情をよく調査して、実損を補填する妥当な額をお支払いすることになります。

●賠償金の請求について

損害を被った消費者(お子さまなどの場合は保護者でもよい)が賠償金を請求するときは、別欄の項目を事故が発生した日から60日以内に下記の協会または、協会が指定するところに届けてください。

(財)製品安全協会 東京都台東区竜泉2丁目20番2号
ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL.(03)5808-3300

●事故賠償に必要な項目

- ① 事故の原因となったスウィングラックの現品
イ)製品の名称、SG番号 ロ)製品の購入先、購入年月日
- ② 事故発生状況
イ)事故発生年月日 ロ)事故発生場所 ハ)事故発生状況
- ③ 被害の状況
イ)被害者の氏名、年齢、性別、職業、住所
ロ)被害の状況と程度(医師の証明書)